

水稻用初・中期一発処理除草剤

マスラオ[®]

1#0粒剤

雑草、成敗いたす。

無人航空機
による散布

適用拡大!



移植水稻、直播水稻の
各種散布方法に対応可能!!

移植水稻
田植同時散布



湛水直播
表面は種同時散布



湛水直播
土中は種同時散布



動力散布機
による散布



マスラオ® 1キロ粒剤

有効成分

イマズスルフロンの0.90%
ピリミノバックメチルの0.60%
フェンキノトリオンの3.0%

一 移植水稻、直播水稻（表面播種・土中播種・乾田直播）に使用可能

● 移植水稻 … 田植同時、移植直後～ノビエ3葉期まで ● 直播水稻 … は種時、は種直後～ノビエ3葉期まで

二 各種は種様式、散布方法に対応可能

※乾田直播の場合は入水5日後以降（ただし稲1葉期以降）に散布。

● 田植同時処理 ● 湛水直播（表面・土中）は種同時散布 ● 乾田直播 ● 動力散布機による散布 ● 無人航空機による散布

三 新規有効成分フェンキノトリオンを配合し

SU抵抗性雑草を含むホタルイ、コナギ、ミズアオイ、オモダカに高い効果を発揮

適用と使用方法

農林水産省登録 第24165号

■ 主要雑草に対する使用適期

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ホタルイ ウリカワ	3葉期まで
移植水稻	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草 エゾノサヤナカガサ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg/10a	1回	田植同時 散布機で施用	ヘラオモダカ	2葉期まで (直播水稻は3葉期まで)
		移植直後～ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで			湛水散布 又は 無人航空機による 散布	ミズガヤツリ	草丈20cm以下まで (直播水稻は10cm以下まで)
直播水稻	一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ ミズガヤツリ、ウリカワ、ヒルムシロ、セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	は種時			は種同時 散布機で施用	ヒルムシロ	発生期まで
		は種直後～ノビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで			湛水散布、 ごく浅く湛水して散布 又は 無人航空機による散布	セリ	再生前から再生始期まで (直播水稻は再生期まで)
						エゾノサヤナカガサ オモダカ クログワイ コウキヤガラ	発生始期まで
						シスイ	草丈3cm以下まで
						アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前まで

イマズスルフロンの含む農薬の総使用回数 2回以内

ピリミノバックメチルの含む農薬の総使用回数 2回以内

フェンキノトリオンを含む農薬の総使用回数 2回以内

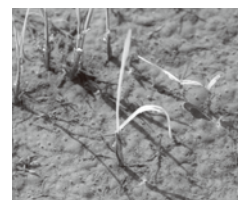
(上記の内容はすべて2021年11月現在の登録内容)

湛水直播水稻栽培におけるマスラオ1キロ粒剤の上手な使い方

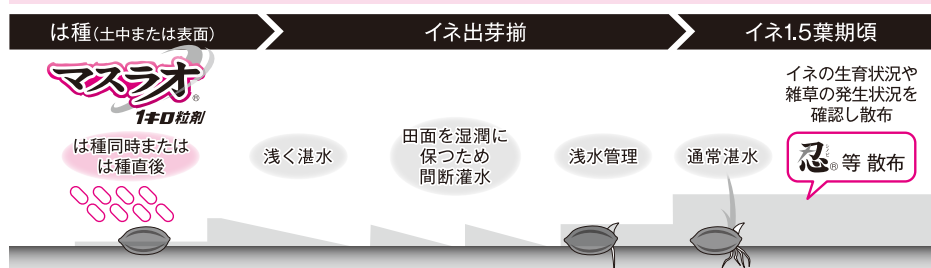
- は種作業及びマスラオ1キロ粒剤の「は種同時処理」は潤湿状態で、終了後できるだけすみやかに入水（浅く湛水）しましょう。
※ただし、水の勢が強すぎると入水部の種子及び薬剤が流される場合があるので注意してください。
- 強制落水では薬剤成分が水田外に流出する恐れがあるので、入水後は自然減水で落水状態にしてください。
- 出芽揃期頃までは落水管理が基本ですが間断湛水（走り水程度）を行い、田面の水分を保ちましょう。

ノビエには遅効的 (発生後に枯れます)

マスラオ1キロ粒剤をは種時処理しても、多くの場合ノビエは発生します。しかし強く抑制され葉色も淡く、2葉期前後には枯死します。



体系処理 ～有効な一発処理剤の散布を～



雑草の要防除期間(雑草を抑えておきたい期間)は地域や気象条件により大きく異なります。

ノビエやホタルイの発生が長期にわたる地域やSU抵抗性の広葉雑草等が発生する場合は、マスラオ1キロ粒剤の処理1回では防除が困難な場合があります。その場合には、マスラオ1キロ粒剤を散布した後、イネが1.5葉期頃に忍剤(1キロ粒剤、フロアブル、ジャンボ)など有効な一発処理剤を散布してください。

※図は鉄コーティング表面播種をイメージしています。
※イネ及び雑草の生育は気象条件、地域により大きく異なります。

使用上の注意事項

- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に使用するように注意してください。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3～5cm)で、まきむらが生じないように均一に散布してください。また、極端な浅水や深水での使用はさけてください。
- 散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かにおこなってください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化および植付作業はついでにおこなってください。未熟有機物を施用した場合は、特についでにおこなってください。
- 無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ってください。
 - ① 散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - ② 専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
 - ③ 事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整してください。
 - ④ 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m以上離れた位置からほ場内に散布してください。
 - ⑤ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - ① 砂質土壌の水田および漏水の大きな水田(減水深が2cm/日以上)。
 - ② 軟弱な苗を移植した水田。
 - ③ 極端な浅植えの水田。
- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用はさしひかえてください。
- 散布田の田面水を他の作物に灌水しないでください。
- その殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分に注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 移植前に生育したミズガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用してください。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のもまでは十分な効果を示さない場合がありますので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 小児の手の届く所には置かないでください。● 空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

03R11K21M18:ZS

2021年11月作成(全企画社)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCA GROUP

住友化学

〒103-6020 東京都中央区日本橋2丁目7番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト 農力 <https://www.i-nouryoku.com>

